

あきは 区役所だより

主な内容

- 2面 健康・福祉、年末年始業務案内
- 3面 学校開放利用団体登録を受付
- 4面 本の森へようこそ
- 5面 自治協議会、山びこコーナー
- 6面 カメラスケッチ、カレンダー

発行 新潟市秋葉区役所 〒956-8601 新潟市秋葉区程島 2009 番地 ☎0250-23-1000(代表) ホームページ <http://www.city.niigata.jp/info/akiha/>

にいつ丘陵

森林整備と二酸化炭素削減で協力

音楽家の坂本龍一さんが代表を務める森林保全団体の「モア・トゥリーズ」と秋葉区で木質ペレットの利用促進を図っている「木質ペレット推進協議会」、新潟市の三者は、11月21日、森林整備と木質ペレット利用による二酸化炭素削減で協力する「森林づくりパートナーシップ協定」を結びました。



同協議会と秋葉区では、にいつ丘陵の市有地で豊かな森林づくりのために行う間伐により生

じる枝などの未利用材を木質ペレットに加工し、区内の花き・花木園芸の冬期暖房燃料として供給。エネルギーの地域内循環「地産地消」に取り組んでいます。

今年3月には、同協議会が進める化石燃料から木質燃料への切り替えで二酸化炭素排出を削減するプロジェクトが、社会的責任として温暖化対策に取り組み企業へクレジットとして販売できる環境省の「オフセット・クレジット」の対象事業に登録され、今回の協定では、モア・トゥリーズがこのクレジットの販売に協力します。得られた利益は、にいつ丘陵の森林整備などに還元されます。

この日、石油の里公園を訪れた坂本さんは、「きれいに間伐され、光が差し込んでいる」と印象を語り、その後の調印式で、坂本さんと同協議会の古川正司代表、篠田市長が協定書を交わしました。

まちの未来へ「夢」を語ろう

小須戸の「いんどこ」再点検!

小須戸の町屋を生かした地域活性化に取り組んでいる小須戸町並み景観まちづくり研究会が、火災に見舞われた小須戸のまちづくりをあらためて考え、まちの未来へ夢を語り合おうと、11月21日、ワークショップを開催しました。

同研究会のメンバーや住民など19人の参加者は、実際に商店街や裏通りを歩き、まちの魅力や改善点を再点検。

その後のワークショップでは、「川湊の歴史を物語る土蔵の活用」「探検気分になる裏通りの魅力」や「徹底した防災都市づくり」など、意見を出し合っていました。

同研究会代表の保科正晴さんは、「思ったことを出し合って、明日の小須戸のまちづくりにつなげていきたい」と話していました。



災害時は連携してまちを守る

企業と区役所 合同で意見交換

11月22日、昨年度に引き続き「この地域は私たちが守る」と題し、災害時応援協定を締結している5団体と区役所の合同ワークショップを開催しました。

ワークショップには、新津建設業協同組合、新津区測量設計協同組合、新潟市新津地区融雪技術協会、新潟市下水道管路維持改築協会から67人、秋葉区総務課、建設課、下水道課から30人の計97人が参加しました。

が行われ、建設業協同組合による技術指導のもと、土のう120個を作成。ここで作られた土のうは、地震時に橋の段差が生じた場合に備え、国道403号の橋の脇に置かれました。



ワークショップでは「クロスロード」という「分かれ道」を意味した防災訓練用のカードゲームを用い、問題カードに書かれたさまざまな災害の状況に、全員が「イエス」「ノー」を出し、お互いに意見を交換しました。参加者からは「ほかの人の意見が参考にな

秋葉区自治会長・町内会長に感謝の集い

永年勤続者に感謝状を贈呈

地域の安全対策や快適な環境づくりなど、わたしたちの生活の中でもっとも身近な住民組織が自治会・町内会です。現在、秋葉区内には179の自治会・町内会があります。

地域のリリーダーとして地域振興に尽力し、住民と行政とのパイプ役を担っている自治会長・町内会長の皆さんに感謝の意を込めて、11月26日、「秋葉区自治会長・町内会長に感謝の集い」を開催しました。初めに永年勤続者3人へ市から感謝状と記念品が贈呈され、その後、藤田秋葉区長から自治会長・町内会長の皆さんへ日ごろの活動に対してお礼の言葉がありました。



▲左から荒木会長、藤田区長、東城会長 (本町2丁目2区町内会の鈴木前会長は所用により欠席)

- 永年勤続表彰者(10年)
- 荒木英男さん (本町3丁目1区栄町町内会)
- 鈴木孟さん (本町2丁目2区町内会)
- 東城昌司さん (車場1丁目町内会)



▲山村武彦さんの講演会

また、終了後、秋葉区自治会・町内会長会主催で、「あなたが主役！わがまちの自主防災」と題して、防災システム研究所長・山村武彦さんによる講演会が行われました。実践的防災・危機管理対策の第一人者で、防災意識啓発に活躍中の山村さん。数多くの現地調査に基づいた説得力のある講演でした。